

東大谷成美会／東大谷高等学校 沿革

年 月	東大谷成美会	東大谷高等学校
明治42(1909)年 4月		大谷裁縫女学校を難波別院内に設立
明治44(1911)年 4月		大谷女学校と改称
11月		大谷章子(東本願寺裏方):初代校長就任
12月		新校舎(檜の学校)竣工
大正 3(1914)年 7月	【第1回 成美会総会】「成美会」の会名を持ち、会則を具備した同窓会の成立 左藤了秀(主幹):初代会長就任	
9月	会誌『みどり』第1号発行 ※第18号(昭和14年12月発行)まで発行	
大正 5(1916)年 8月		左藤了秀:第2代校長就任(初代理事長・学園長)
大正14(1925)年	【成美会総会】 大谷高等女学校卒業生(昭和3年3月卒)を「成美会」に包含することが前提とされる ※大正13(1924)年、大谷高等女学校(現大谷中学校・高等学校)設立	
昭和 6(1931)年 1月		阿倍野校地(大阪市阿倍野区共立通)へ移転 〔別院内の木造二階建校舎(檜の学校)をそのまま移転〕
昭和11(1936)年 3月		第二大谷高等女学校へ改称 左藤義詮:第3代校長就任(第2代理事長・学園長)
昭和12(1937)年 3月		新校舎竣工
昭和20(1945)年 12月	左藤義詮(大谷高等女学校・第二大谷高等女学校・大谷女子専門学校 校長): 第2代会長就任	
昭和21(1946)年 5月		東大谷高等女学校と改称
昭和22(1947)年 4月		東大谷高等女学校付設東大谷中学校を開設
昭和23(1948)年 4月		学制改革により東大谷中学校・東大谷高等学校となる
昭和34(1959)年 4月	左藤行子(大谷高校・東大谷高校 校長、大谷女子短期大学 学長):第3代会長就任	左藤行子:第4代校長就任(第3代理事長・学園長)
昭和41(1966)年	【成美会総会】<<左藤行子会長からの要請>> 「学園発展の基礎は同窓生の力強い協力にある。そのためには、同窓生の 団結が必要であるから、会長以下の役員を同窓生の皆さんで選出されたい」	
昭和42(1967)年	【成美会総会】 会則改正、役員を選出 小笠原光(大谷裁縫女学校明治45年卒):第4代(成美会再編後初代)会長就任	
11月	成美会報(第1号)発行 ※会報発行は途中中断を経て平成13年まで発行	
昭和44(1969)年 11月		左藤恵:第5代校長就任(第4代理事長・学園長)
昭和51(1976)年 3月		東大谷中学校廃止
昭和52(1977)年	小笠原光会長逝去 西端春枝(第二大谷高等女学校昭和13年卒):第5代(成美会再編後第2代)会長就任	
昭和59(1984)年 3月		新校舎(本館)竣工
昭和63(1988)年 4月		大谷学園帝塚山学舎竣工
平成 5(1993)年 4月		国際文化コース設置
平成 8(1996)年 4月		特別進学コース設置
平成15(2003)年 4月		標準コースを総合コースに変更 松重享蔵:第6代校長就任
平成19(2007)年 4月		特別進学コースに国公立クラス設置 国際文化コースを英語進学コースに変更 総合コースを進学コースに変更
平成20(2008)年 4月		児玉道仁:第7代校長就任
平成21(2009)年 10月		東大谷高等学校創立100周年(学園創立100周年)
平成25(2013)年 4月		泉ヶ丘校舎(堺市)を開設、男女共学化 特別進学、言語・国際、進学探究の3コースを設置 泉ヶ丘校舎(1年生)・阿倍野校舎(2・3年生) 神代一徳:第8代校長就任
平成27(2015)年 3月		阿倍野校舎最後の卒業生、阿倍野校舎閉幕
5月	【第94回 成美会総会】大谷成美会、東大谷成美会として独立を決議	
平成28(2016)年 4月	大谷成美会、東大谷成美会として独立 西端春枝:第5代(東大谷成美会初代)会長	
8月	東大谷成美会報(第1号)発行	
平成28(2016)年 10月	【第1回 東大谷成美会総会】	
平成29(2017)年 4月		特別進学コースを特進コースに変更 言語・国際コースを国際コースに変更 進学探究コースを進学コースに変更
平成31(2019)年 4月		長尾文孝:第9代校長就任
令和 2(2020)年 6月	西端春枝会長逝去	
7月	服部弘美(東大谷高校昭和46年卒):第6代(東大谷成美会第2代)会長就任	
令和 3(2021)年 4月	東大谷成美会報(第2号)発行	